

n und Jünglinge, hiero hat so viel mißratene Kindererziehung, Mißverständnis zwischen Eltern und Kind entweder von der oder der andern Seite her, so viel unnöthi-[9]ges Klagen, sowie überflüssiges Erheben und törichtes Erwarten von den Kindern seinen Grund. Darum ist diese Wahrheit in ihrer Anwendung für Erzieher und Lehrer so hochwichtig, daß sie sich sämtlich besollten, sich mit dieser ihrer Anwendung bis in das Kleinste vertraut zu machen; dies würde eine Klarheit, Sicherheit, Ruhe Eltern- und Kinder-, Jüglings- und Erzieher-, Schüler- und Verhältnisse bringen, welche jetzt vergebens angestrebt werden; das äußerlich gut scheinende Kind oft in sich nicht gut ist, nicht durch Selbstbestimmung oder aus Liebe, Achtung und Anung das Gute will; sowie das äußerlich raube, trozige, eigen, also nicht gut erscheinende Kind und Knabe oft in sich das eifrigste, kräftigste Streben nach Darstellung des Guten mit bestimmung hat; der äußerlich zerstreute Knabe in sich einen en, festen Gedanken hat, der ihn alles Äußere nicht be-



jedem Einzelnen wirkenden Gesetzen gemäß schön entfal wachsen; jungen Tieren und jungen Pflanzen läßt man sucht gewaltsam eingreifende Einwirkungen auf sie zu wissend, daß das Gegenteil ihre reine Entfaltung und wicklung stört; aber der junge Mensch ist dem Menschen stück, ein Konklumpen, aus dem er kneten kann, was Menschen, die ihr Garten und Feld, Wiese und Hain d warum öffnet ihr euern Sinn nicht, das zu hören, wa in stummer Sprache euch lehrt: sehet an die Pflanze, die nennt und die, in Druck und Zwang herausgewachsen, Gesezmäßigkeit ahnen läßt, sehet sie im freien Raume, o im [12] Beet, und schaut, welch eine Gesezmäßigkeit, we inneres, in allen Teilen und Äußerungen übereinstimmen zeigt, eine gestaltete Sonne, ein strahlender Stern der G so könntet, Eltern! eure Kinder, denen ihr frühe Form wider ihre Natur aufzwingt, und die darum in Sichh natürlichkeit um euch wandeln, auch schön sich entfalte

長田新、福島政雄、辻幸三郎の企画・主導による

名著選集を今ふたたび！

戦前の教育界に新風をもたらしした、

〈学術アーカイブス〉

発行 学術出版会

発売 日本図書センター

世界教育名著選集

◆ 全9巻 ◆

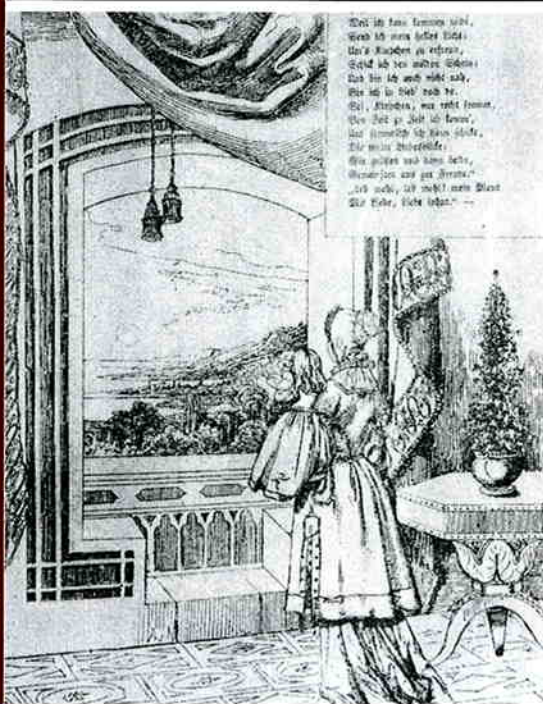
ペスタロッチ、フレーベル、ルソーらの

教育思想を西洋思想史においてとらえ直し、

それらの源流としての、

コメニウスやフェヌロンを本格的に紹介。

限定
80
セット



sollen Erziehung, Unterricht und Lehre ursprünglich und sten Grundzügen nots[10]wendig leidend, nachgehend (nur chügend), nicht vorschreibend, bestimmend, eingreifend sein. Erziehung, muß dies aber auch notwendig an sich sein: Wirken des Göttlichen ist in seiner Ungefügtheit notwendig voraussetzen, daß der noch junge, gleichsam erst werdende enn auch noch unbewußt, gleich einem Naturprodukt, doch und sicher das Beste an sich und für sich will, und zwar dies in einer ihm ganz angemessenen Form, welche dar- auch alle Anlagen, Kräfte und Mittel in sich fñhrt. So nge Ente nach dem Teiche und auf und in das Wasser, das junge Hühnchen in der Erde scharrt und die junge im Fluge ihr Futter fängt und frßt nie die Erde berührt. auch immer gegen jene vorhin ausgesprochene Wahrheit des Schließens, und diese des beachtenden Nachgehens und enduna auf und in der Erziehung gelaßt, so sehe [11]

Alle tätige, vorschreibende und bestimmende, ein gziehung und Unterricht muß der Wirkung des Gö be Menschen in ihrer Unverletztheit und ursprüng betrachtet, notwendig vernichtend, hemmend und So soll — um weiter uns von der Natur lehren Gewächse, der Weinstock beschnitten werden; aber als solches bringt bei dem Weinstock noch keinen W der Weinstock durch das Beschneiden, geschehe es au Absicht, ganz vernichtet, wenigstens seine Frucht- ur stört werden, [13] wenn der Gärtner dabei nicht achtend, der Natur des Gewächses nachgeht. Bei und deren Behandlung gehen wir sehr häufig r Menschen den ganz falschen Weg betreten, und doch Kräfte, welche aus einer Quelle geflossen und not tätig sind; darum ist das Beachten und Betrachte von dieser Seite für den Menschen so wichtig.

自由教育運動の隆興期に、西洋教育思想をとらえ直そうとした先駆者たちの試みと成果

世界教育名著選集について

1. 長田新、福島政雄、辻幸三郎らの企画・主導で、西洋教育思想の系統的な紹介をめざし、大正末期から昭和初期に刊行された名著選集を復刻。

2. 自由教育運動を触発した外来の教育思想を西洋思想史の流れの中に位置づけ、深い理解を促そうとした先駆的試み。充実した解題と論考、小伝付き。

3. 第3巻収録のコメニウス『大教授学』や、第5巻収録のフェヌロン『女子教育論』のように、日本語訳での紹介としては最も初期のものを含んだ興味深い訳本。

各巻の内容

* 底本での邦題と現代の一般的な邦題が異なる場合などは、内容を「」内に補った。

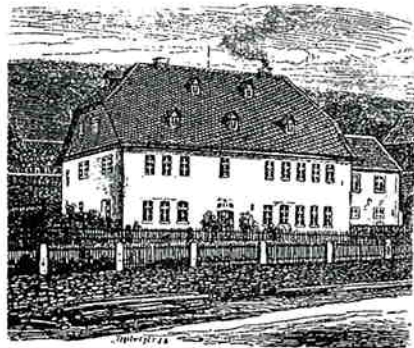
第1巻

隠者の夕暮

- ・序に代へて『隠者の夕暮』の価値及び意義 福島政雄
- ・隠者の夕暮（ペスタロッツチ著、福島政雄訳）
- 【付】口絵「ペスタロッツチの肖像」／『隠者の夕暮』原文 ほか

児童神性論

- ・フレーベルの教育説について 長田新
- ・児童神性論（『人間の教育』第1篇）
- （フレーベル著、長田新訳）
- ・母と子／月と子供 ほか
- 【『母の遊戯と唱歌』（抄）
- （フレーベル著、稲富栄次郎訳）
- 【付】口絵「フレーベル肖像」
- 「フレーベルの墓所」／『人間の教育』第1篇原文



挿絵より「フレーベル誕生の家」

第6巻

道徳及宗教教育の本質

- ・ペスタロッツチの宗教教育説／ペスタロッツチの宗教思想 長田新
- ・道徳及宗教教育の本質
- 【『ゲルトルードは如何にして其子を教ゆるか』第13信、第14信】
- （ペスタロッツチ著、長田新訳）
- 【付】口絵「ゲルトルードは如何にして其子を教ゆるか」第13信、第14信原文

児童教育論

- ・モンテーニュの生涯／思想史上に於けるモンテーニュの地位／モンテーニュの教育思想 辻幸三郎
- ・児童教育論（『エッセー』より「児童の教育に就いて」「術学に就いて」）
- （モンテーニュ著、辻幸三郎訳）
- 【付】口絵「モンテーニュの肖像」

ペスタロッツチと女子教育

- ・女性の本質と使命 福島政雄
- ・ペスタロッツチと女子教育（ナトルプ講演録）（ナトルプ講演、福島政雄訳）
- 【付】口絵「ペスタロッツチ婦人肖像」

第8巻

道徳教育可能論（メノン）

- ・プラトンに於ける徳育可能の問題（メノン篇を中心として） 稲富栄次郎
- ・道徳教育可能論（メノン）
- 【『メノンとの対話』『アニユトスとの対話』『メノンとの第二の対話』】
- （プラトン著、稲富栄次郎訳）
- 【付】口絵「プラトン」／『ステファヌス版プラトン全集 第2巻メノン篇 原文（抄）』

第9巻

懺悔の教育（エミール）

- ・エミール第1巻（『エミール』序文および第1篇）
- （ルソー著、林謙次郎訳）
- ・解説（ルソー小伝） 林謙次郎
- 【付】口絵「ルソー肖像」

第4巻

聖の世界と教育

- ・コメニウスの為の弁明／コメニウス小伝 辻幸三郎
- ・聖の世界と教育（『大教授学』第1章から14章）
- （コメニウス著、辻幸三郎訳）
- 【付】口絵「コメニウスの肖像」

第3巻

女子教育論

- ・フェヌロンの生涯／フェヌロンの「女子教育論」に就いて 辻幸三郎
- ・女子教育論（フェヌロン著、辻幸三郎訳）
- 【付】口絵「フェヌロンの肖像」

第5巻

内容見本

（約60%縮小）

↓ 第8巻収録「女性の本質と使命」（福島政雄）より。訳者の論述が翻訳に劣らない比重を占める巻もあり、編者たちの思想を知る上で重要である。

に着目して居るのである。直観性は實に女性の本質の一面であると同時に人間教育上の根本のはたらきをなすものである。直観性の極致は宗教である。エリスは男女性の區別を論じて女性の自然の傾向は哲學に向はすして宗教に向ふと述べて居る。即ち女性はたとひ哲學の書を讀んでも、ジョーベン・ハウエル・プラトン・マルクス・アウレリウス、エピクテトスなどに興味を感ずるといふのである。これらの哲學者は哲學者中の最も宗教的なものである。女性をしてこれらの哲人に興味を感ぜしむる所以のものは女性の本質として存する直観性である。此の直観性によつて宗教の世界に觸れてこれに徹し翻つて教育の世界に向ふとき女性の本質は最も深く教育的にはたらくものである。そのことに就いては後に項を新にして述べたいとおもふ。

女性の本質と使命

二八

人々が子供から求めようとする此満足は尙一つの甚悪い結果を産むものである。子供は人々は満足の情を以て彼等を見るものと考へる。凡ての行爲を注意して居るものと喜んで彼等に傾聴するものと考へる。茲からして彼等は世人が常に彼等に關心せるものと信じ切つてしまふやうになる。

賞讃せられる一方で、尙何等の反對をも經驗しない此時代に於いては人々は此の如き空想的な期待に信を置いて居るのである。之れ實に全生涯に對する無數の違算の源である。人々が密かに話して居るときは何時でも自分のことを話して居るのだと信じて居た若干の子供を私は知つて居る。これ彼等が屢々事實其通りであつたことを見て居たからである。彼等は自身の内に非凡な賞讃すべきものののみ有



↑ 第2巻収録「母の遊戯と唱歌」（フレーベル著、稲富栄次郎訳）より、原著の挿絵

世界教育名著選集 全9巻

■定価 68,250円 (本体65,000円+税) ISBN978-4-284-10275-9

■体裁 A5判、上製、個函・セット函入、総約2000頁

■底本 『教育思想精華選』大正13(1924)～昭和7(1932)年、目黒書店

2010年
10月刊行
限定80セット

おすすめ先 大学・公共図書館／教育学、教育史、教育思想・教育思想史の研究者

好評既刊

〈学術アーカイブス〉

学術辞典叢書 第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期 全15巻

■体裁 A5判、上製、個函・セット函入、総約5400頁

■底本 『大思想エンサイクロペディア』第22～36巻、昭和3～5年、春秋社

■定価 第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期：全15巻 揃定価189,000円(本体180,000円+税)、各巻定価12,600円(本体12,000円+税)

	巻数	定価	ISBN	刊行
第Ⅰ期	全5巻	63,000円(本体60,000円+税)	978-4-284-10244-5	2010年9月刊行
第Ⅱ期	全5巻	63,000円(本体60,000円+税)	978-4-284-10250-6	2010年11月刊行
第Ⅲ期	全5巻	63,000円(本体60,000円+税)	978-4-284-10256-8	2011年2月刊行



〈学術著作集ライブラリー〉

沖野岩三郎著作集 全6巻



■定価 94,500円 (本体90,000円+税)
ISBN978-4-284-10290-2

■体裁 A5判・上製函入・総約2800頁

■解説 太田雅夫
(元桃山学院大学教育研究所所長)

■収録内容

- 第1巻 煉瓦の雨
- 第2巻 宿命
- 第3巻 生を賭して／渾沌
- 第4巻 薄氷を踏み
- 第5巻 生れざりせば
- 第6巻 宿命論者のことば 解説・略年譜

2010年
9月刊行

乙竹岩造著作集 全6巻



■定価 98,700円 (本体94,000円+税)
ISBN978-4-284-10220-9

■体裁 A5判・上製函入・総約2900頁

■解説 樽松かほる (桜美林大学教授)

■収録内容

- 第1巻 欧米教育視察報告十二集
- 第2・3巻 実験教育学
- 第4巻 戦近教育事実の進歩
- 第5巻 現代教育学汎論
- 第6巻 日本教育学の枢軸 解説・略年譜

高島平三郎著作集 全6巻



■定価 89,250円 (本体85,000円+税)
ISBN978-4-284-10193-6

■体裁 A5判・上製函入・総約2900頁

■解説 大泉博 (日本福祉大学教授)

■収録内容

- 第1巻 師範学校教科用書 心理綱要／心理漫筆
- 第2巻 新撰教育学講義／女子新教育学
- 第3巻 体育原理
- 第4巻 児童心理講話
- 第5巻 婦人のために
- 第6巻 心理学綱要 解説・年譜

野口援太郎著作集 全6巻



■定価 88,200円 (本体84,000円+税)
ISBN978-4-284-10182-0

■体裁 A5判・上製函入・総約2300頁

■解説 石橋哲成 (玉川大学教授)

■収録内容

- 第1巻 自由教育と小学校教具
- 第2巻 新教育の原理としての自然と理性
- 第3巻 高等小学校の研究
- 第4巻 私の学校／私の教育思想と其実際／人生と教育の真諦
- 第5巻 教育的国史観
- 第6巻 先づ教育を革新せよ 解説・略年譜

〈発行〉

学術出版会

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2

TEL 03-3947-9153 FAX 03-3947-9157

http://www.gaku-jutsu.co.jp

E-mail: info@gaku-jutsu.co.jp

〈発売〉

日本図書センター

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2

TEL 03-3947-9387 FAX 03-3947-1774

http://www.nihontoshu.co.jp

取扱書店